

京菓子って？

京菓子は、平安期の朝廷の礼式、故実に基づいた年中行事の菓子である有職菓子をベースに、江戸期の茶の湯の隆盛により茶席菓子として発展してきました。厳選された材料、職人の繊細な手技、そしてほんの少しの道具だけで作られる京菓子はまるでアート作品のよう。四季の繊細な色の移り変わり、ぎりぎりまで抽象化されたかたち、銘から広がる無限のイメージ…小さな京菓子は美意識の結晶です。

京菓子展 2025-小堀遠州と松花堂昭乗

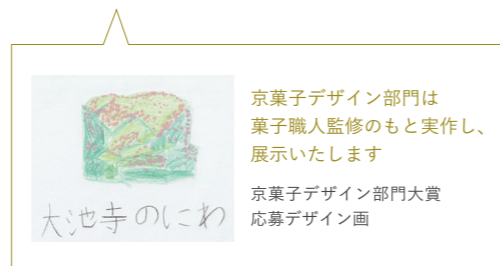
2025年は「小堀遠州と松花堂昭乗」をテーマに京菓子デザインの公募を行いました。全国から約630点の応募があり、入選作品44点を有斐齋弘道館及び旧三井家下鴨別邸において展示いたしました。



茶席菓子実作部門
大賞
「密光」
作者：和久井 里香



京菓子デザイン部門
大賞
「大池寺のにわ」
デザイン：前崎 佐槻



京菓子デザイン部門は
菓子職人監修のもと実作し、
展示いたします
京菓子デザイン部門大賞
応募デザイン画

京菓子デザインは京菓子展 HP からご応募いただけます！

公募要項ページにある「ウェブで応募」ボタンをクリック。
そちらの「応募フォーム」に必要事項を記入のうえ送信ください。
京菓子展 HP にて、これまでの京菓子展入選作品をご覧ください。

詳しくはこちら

<https://kyogashi.jp>



ゆうひさいこうどうかん 公益財団法人 有斐齋弘道館

有斐齋弘道館は、江戸時代を代表する儒者・皆川淇園(みながわきえん/1734～1807)の学問所「弘道館」址に建つ文化的建造物を保存するとともに、江戸時代の教養文化を楽しみながら考え、広めていくための活動を行っています。京菓子展への応募を通して、当時の文化サロンの豊かなネットワークに思いを馳せていただけましたら幸いです。

TEL : 075-441-6662 E-mail : info@kodo-kan.com
Web : <https://kodo-kan.com>

京菓子展 2026-寛永行幸絵巻

京菓子デザイン公募

入選作品は「京菓子展 2026-寛永行幸絵巻」に展示いたします



京菓子展 2025 受賞作品

「寛永行幸記 下巻」(原本個人蔵のデータを彩色加工)

京菓子展 2026-寛永行幸絵巻

本会場：有斐齋弘道館
特別会場：旧三井家下鴨別邸
会期：2026年10月1日(木)～10月15日(木)
主催：公益財団法人有斐齋弘道館
旧三井家下鴨別邸運営コンソーシアム
共催：京都市、公益社団法人京都市観光協会
古典の日推進委員会
後援：京都府、八幡市、京都新聞
協力：学校法人 大和学園 京都製菓製パン技術専門学校
株式会社 GK 京都、パウプラス京都株式会社
京都ブライトンホテル



寛永行幸四百年祭連携事業

2013年に始まった京菓子展。今年、後水尾天皇が寛永3年(1626)に二条城に行幸されてから400年の節目を迎えます。
この記念すべき年、京菓子展2026では、寛永の行幸にちなみ、華やかな「寛永行幸絵巻」をテーマに掲げます。
戦国の世を乗り越え、平和の時代を迎えて、幕府は威信をかけて天皇をお迎えし、京都には全国から大名が集いました。
その壮麗な行幸を通して、人々は安らぎと繁栄の時代が訪れたことを感じ取ったことでしょう。
その後、茶の湯や華道、能楽、書、絵画、工芸、装束、出版など、多彩な芸術が次々と花開き、やがて「日本文化の故郷」と呼ばれる寛永文化が生まれました。
「寛永行幸」の情景は今も絵巻や屏風に残され、当時の美意識と豊かな精神を語りかけてくれます。

京菓子展2026では、この「寛永行幸絵巻」を通して、文化と芸術が響き合った寛永の時代の息吹を、現代の京菓子に映し出します。

